

AI 創薬ベンチャー「MOLCURE 社」の第三者割当増資引受け ならびに業務提携に向けた協議開始のお知らせ

日本ケミファ株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:山口 一城)は、このたび、株式会社 MOLCURE(以下「MOLCURE」)の第三者割当増資の一部を引受けるとともに、両社間で業務提携に向けた協議を開始することを合意した覚書を締結いたしました。

MOLCURE は、AIを用いて主に抗体をターゲットにした医薬品の設計を行い、製薬会社に提供する事業を行う AI 創薬ベンチャーです。この度の第三者割当増資で調達した資金により、主に業務推進体制の強化を図ることで事業展開を加速させるとともに、製薬業界の多様なニーズに一層幅広く対応すべく、MOLCURE が有する最先端技術を更に進化させ、適用範囲を拡張するための研究開発投資も行う予定です。

当社は、まだ十分な治療薬がない病気に苦しむ患者さんのため、画期的新薬の開発を目指していますが、将来にわたり有望な医薬品候補を生み出し続けるためには、技術革新著しいデジタルテクノロジーの取り込みなど、創薬手法そのもののイノベーションが必要不可欠であると考えています。当社は今回、MOLCURE のビジネスモデルに強く賛同し、ヘルスケア関連企業としては初めて、MOLCURE に資本参加することといたしました。併せて両社は、MOLCURE の技術と当社の創薬研究基盤を融合することにより、革新的な医薬品を創出し事業化することを目的とした業務提携を行うための協議を開始することに合意しました。今後、具体的な提携の範囲やスキームなどの協議を進め、2018 年度中を目途に業務提携契約を締結する予定です。

なお、今回の合意は、両社がそれぞれ協業する他の取引先との関係に何ら影響を与えるものではありません。

■ MOLCURE について

2013 年創業の AI 創薬ベンチャー。「独自の AI アルゴリズム」による最先端の分子設計技術、「バイオテクノロジーや次世代シーケンサを用いた独自の実験技術」と「自社開発の実験自動化ロボット」を組み合わせたきわめてユニークな大規模実験データ獲得能力を有しており、それらを組み合わせた次世代の合理的な創薬プラットフォームを有しています。

国内外の大手製薬会社や業界を牽引する研究機関において多くの利用実績があるとともに、MOLCURE の研究開発テーマや技術が政府系プロジェクトや複数の公的資金に採択されるなど、その高い技術力は広く産官学から評価を受けています。

<会社概要>

会社名	株式会社 MOLCURE
代表者	小川 隆
所在地	東京都品川区北品川五丁目 5 番 15 号
設立日	2013 年 5 月 1 日
事業目的	人工知能により革新的な医薬品を設計、製薬会社に提供。 豊かで長い寿命、有効な治療薬のない疾患の治療を目指す。
URL	http://molcure.com/

以上